

# 2019 年度

## 阪神地区精神保健福祉研修会

日 時 2020年2月22日 (土)

13:00~16:10 (受付開始12:30)

会 場 フレンテホール (JR 西宮駅南隣フレンテ西宮 5 階)

主 催 (公社)兵庫県精神福祉家族会連合会

実行委員会構成：西宮・川西・猪名川・宝塚・三田・伊丹・尼崎・芦屋の各市町の家族会

幹事家族会 西宮家族会

後 援 西宮市・西宮市社会福祉協議会

### 主 な 内 容

#### ○各市の家族会活動報告

##### 7市1町の家族会代表による報告

#### ○講演 (手話通訳付き) 伊勢田 堯 (いせだ たかし) 精神科医師

### 「<sup>なお</sup>どう治すか」から「どう生きたいか」への支援へ ～精神疾患からの回復の研究と実践60年、『生活臨床』とは～

なかなか治らない精神疾患です。しかし我々家族はあきらめずに新しい治療方法を期待しています。非定型の抗精神病薬が使われ始めた時も、大きな期待をもって薬にすがりました。でも、それからの年月を振り返ってみて、期待したような回復があったでしょうか。残念ですがまだほど遠いですね。そして一部の精神科医は、薬は否定はしないけれども、薬以外のこと、当事者の周りの人間関係・環境が、むしろはるかに大きく回復に影響すると言います。本当でしょうか。

フィンランドにはオープンダイアログという方法での世界で最高の成功例があります。ほとんど薬は使わずに当事者が対話によって回復し、85%が就労しています。ただ、この

方法は成功している地域以上に広がるには既存体制の抵抗が壁になっているようです。

では、日本にはどんな方法があるのでしょうか。60年前から開発が始められた「生活臨床」という方法があります。群馬大学医学部で始まり、その後改善が続けられ、現在、精神科治療に静かに深く影響を及ぼし始めているようです。

一昨年の「みんなねっと兵庫大会」を大いに盛り上げた糸川昌成医師が、特別講演で「生活臨床」について話し、また、令和元年10月5日の「ひょうかれん創立50周年記念大会」のトークライブでも「生活臨床」について触れました。精神の臨床医療の権威である中井久夫神戸大学名誉教授も「生活臨床」をととても称賛しています。この「生活臨床」とは一体どのような方法なのでしょうか。ぜひ今回の研修会で聴きたいですね。

講師の伊勢田堯氏※は「生活臨床」の第一人者です。「みんなねっと」誌にも創刊号以来たびたび登場され、令和元年の5月号には最近のベルギーの精神科医療改革について寄稿されています。この伊勢田医師の講演を「みんなねっと」を通じて依頼したところ快諾され、講演が実現しました。**ご参加は障がい者家族、支援者、行政、一般、すべて歓迎します。** [会場地図](#)

※元東京都立多摩総合精神保健福祉センター所長。現在、東京都医学総合研究所客員研究員。

### 参加申込方法

西宮市在住の方・西宮市内在勤の方は下記の申込書に書き込み、チラシ当面ごとファックスしてください。



**申込先 FAX 番号 : 0798-46-5733 (西宮家族会 室屋)**

### 2019 年度阪神地区精神保健福祉研修会参加申込書

(ふりがな) 申込者氏名	職業・所属・職名など	FAX 番号または電話番号

**申込期限 : 2020年1月20日(月)**